



藤岡 緑 議員

問 ロシアによるウクライナ軍事
 侵攻が発生し、今こそ平和に関
 する教育の重要性が増してきた。
 町内小・中学校における平和

答 小学校では、地域の戦争当時
 の写真や生活用品等を教材とし
 た戦時下の生活やその時代を生
 き抜いてきた方々の語りを聞く
 学習を行っている。

6年生の修学旅行では、被爆
 地広島を訪れ、平和記念公園、
 原爆資料館の見学や被爆体験者
 への聞き取り学習を行い、その
 成果を基に「平和」をテーマに
 した探求学習を実施している。
 中学校では、小学校で学んだ
 ことを基に、日本や世界の戦争
 の歴史と現状や国際社会の平和
 問題について理解し、平和な社
 会を構築していくための考えを
 まとめる活動を行っている。

今後は、SDGsの達成の視
 点を持ち人権・環境・ボラン

ティア活動との連携を図り、平
 和で持続可能な社会の形成者の
 育成に努める。



ノーモア広島・長崎

問 町内の無園児家庭の実態把握
 及び支援は。

答 未就園児とは保育所や幼稚園
 などに通っていない小学校就学
 前の0～5歳児までの児童のこ
 とで、全国に約187万人いる。
 町内では、0～2歳児の内394
 人が、3～5歳児までは26人が
 未就園児と把握している。本町
 では子育て世代包括支援セン
 ターにおいて出生や転入したす
 べての乳幼児やその家庭と関わ
 りを持ち、健康診査や「こんに
 ちは赤ちゃん事業」などを実施
 し家庭状況把握に努め、ハイリ
 スク家庭の未就園児を含め、き
 め細かな支援を継続的に行っ
 ている。



住田 英次 議員

問 コロナ禍での町内事業者への
 支援策として、当町以外の県内
 の19市町では、愛媛県信用保証
 協会の融資制度の「市町融資制
 度保証」の一つである、「中小
 企業振興資金融資制度」を活用
 し支援しているが、本町の取組
 の考えは。

答 この融資制度は町と指定の金
 融機関、信用保証協会が連携し
 事業資金の融通を円滑にする目
 的で設けられている。信用保証
 協会から低い保証料で、金融機
 関からは低金利で上限500万円ま
 での融資が受けられる。中小企
 業者の事業継続の対策として有
 益な制度である。

現在、本町では中小企業振興
 プロジェクトを進め、中小企業
 実態調査の実施に取り組んでい
 る。調査結果を踏まえ、この融
 資制度を活用した制度の創設を
 検討したい。

問 北黒田の西の海岸にある、北
 黒田、宗意原、新立地区の墓地
 の北側の町有地に墓地参拝用の
 駐車場や、車の往来のできる道
 路の整備の考えは。

答 墓地参拝用の駐車場は管理し
 ている行政区が整備するのが
 ルールとなっている。他の行政
 区では行政区で土地を借り上げ
 駐車場の整備をしている例もあ
 る。

石油基地跡地から海岸線を南
 へ向かう道路は、いりこ加工工
 場移転に合わせて整備したい。



松前港への往来も!!

意見 町有地は町民のために使って
 ほしい。それができないルールな
 ら変えていけば良いのでは。